

三岳&小金ヶ岳山行に参加して！

関西百名山、多紀アルプスの主峰、役の小角により行場として開かれた山、岩稜・岩峰と変化に富む、等々の言葉から行ってみたいと参加しました。事前には参加人数が少ないなんて話も耳にしていたのに、何とか滑り込みセーフ、マイクロバスは定員いっぱいの満席でした。

当日は後半連休の初日、そして快晴、少々の渋滞は覚悟していたものの、名古屋方面への車が多くうまくすり抜け京都縦貫道へ、後はすいすい登山口「大峠」へ到着です。ところでこの地名、皆さん読めますか？「おおたわ」と読むようですよ。(因みにPCに無い字なのでこの字を書くのにも四苦八苦したのですが、文字化けするかも……。山篇に定と書きます。)いつもの通りトイレを済まし、続いて準備体操、班ごとの点呼、CLを先頭にスタートしました。

今日の2山はここ大峠を中心にピストンします。一周ぐるりの縦走も可能ですが、CLが事前に見下され時間的に見ての判断です。何となく、否2つの山の感じも含め中央アルプスの甲斐駒ヶ岳と仙丈ヶ岳を思い起こさせます。ミニ甲斐駒とミニ千丈、そして大峠が北沢峠ってところですね。

まずは三岳を目指しました。三岳は御嶽、或いは三嶽とも書くようで山名は修験道から来ているらしい。後で登る小金ヶ岳は昔「金嶽」と呼ばれ、黄金と修験道の関係の近さを表しているとの事です。

本論に戻ります。スタートして直ぐに延々と続く階段の直登、整備はいいものの我々には結構きつい。出来るだけ階段を避けてゆっくりと登って行きました。当日は快晴で少々暑いのは思っていたのですが流石丹波篠山、そよ風もあり新緑にも適宜遮られ、気持ち良い登山になりました。1時間丁度で山頂に到着しました。北側が開けており多紀の山並みが見渡せるのですが、ちょっと春霞なのか遠くはかすみ、水墨画を思わせる感じでした。

山頂には10人ばかりの地元の人達が、倒木等の整備をしながら登って来られていました。彼らのお蔭で私達も楽しい山行が安心して出来ます。感謝です！

(下山に当り彼らのひとりの口から「さあー、ビールが美味しいぞ！))

数人のメンバーから色々なおやつを戴きひと休みして、下山開始。山友会の面々は元気そのもの、続いて登る小金ヶ岳を正面に眺めながらアツと云う間に大峠到着。この間に5~6台の車が駐車していました。時間的にはちょっと早い時間ですが、予定通りの昼食です。

今度は小金ヶ岳を目指します。ミニ甲斐駒です。最初良く整備されたスギ林を緩やかに登りました。その内自然林に移ると目に優しい新緑、新緑のオンパレード、色鮮やかな三つ葉ツツジ、山頂近くにはジャクナゲ(少々遠過ぎましたが)、日陰ツツジ。一方登山道は岩場、岩塊、鎖、そして急登、何とも素晴らしい山登りでした。

山頂に着いて全員で記念撮影し、多紀の山並みを眺めつつひと休み。も少し霧が無ければ素敵な写真が撮れるだろうに、とぶつぶつ。とは言え、十分満足した山頂でした。三岳に比べ約70m低いにも拘らず、登りの時間は殆ど同じ、下山は30分も多く時間を要しました。それだけ下山には注意を要した厳

しくも印象に残る山でした。

安全山行に留意し、事前の調査・下見を十分にされたCLに感謝すると共に、当日お世話頂いた皆さんに改めてお礼申し上げます。有難う御座いました！

(中廣)

